看護こうち

No. 143
2019年4月

Kochi Nursing Association Official Newspaper

●発行所：公益社団法人 高知県看護協会　高知市朝倉己825－5　TEL 088-844-0678　FAX 088-844-0053
URL http://www.kochi-kangokyokai.or.jp　Eメール info@kochi-kangokyokai.or.jp
●発行責任者：宮井千恵

会員数	5,665名
保健師	109名
助産師	135名
看護師	5,107名
准看護師	314名

（2019年4月1日現在）

四国最大級として知られる、香南市かがみチューリップ園の「かがみ花フェスタ　チューリップまつり」

おもな記事

- 受賞おめでとうございます……2
- 2019年度通常総会のご案内とお知らせ……2
- 通常総会プログラム……2
- 委任状の取り扱いについて……3
- 2019こうち看護フェアご案内……3
- 認定看護師紹介⑦　がん放射線療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師……4
- 会員施設の紹介（3施設）……5
- 第2回看護職の再就職相談会開催報告……6
- 平成30年度WLB推進フォローアップ・ワークショップの開催報告……6
- 平成30年度高知県看護協会看護研究学会開催報告……6
- 在宅緩和ケア従事者研修報告……7
- 認定食事サポーターについて……7
- こうち看護協会訪問看護ステーションからのお知らせ……7
- 会員のひろば……8
- 事務局だより……8
- 編集後記……8

公益社団法人高知県看護協会

受賞おめでとうございます

「第47回医療功労賞」都道府県医療功労賞を、中芸広域連合地域包括支援センター所長の、廣末ゆか氏が受賞されました。長年にわたり地域医療に貢献した功績が認められました。

読売新聞高知支局長から表彰状を授与
（於：高知県庁）

【通常総会のお知らせ】

2019年度
公益社団法人高知県看護協会

通常総会のご案内とお知らせ

2019年度公益社団法人高知県看護協会通常総会を下記のとおり開催いたします。
公益社団法人としての事業報告や収支決算書、定款の改正案などをご審議いただき、会員の皆様にご理解とご意見をいただく重要な総会です。多くの正会員の方々の出席を賜りますようご案内申し上げます。
なお、やむを得ず総会を欠席される方は、委任状を提出して下さい。議題につきましては、通常総会プログラムをご参照ください。

2019年度 公益社団法人高知県看護協会通常総会プログラム

開催日時：2019年 6月15日（土）9:00～12:40

8:30	開　場
8:55	オリエンテーション
9:00	開　会
	物故会員への黙祷
	会長挨拶
	来賓祝辞
	来賓紹介
	祝電披露
	受賞者紹介
	記念品贈呈
	受賞者謝辞
9:40	議長団選出
	記録係・議事録署名人任命
9:50	審議事項
	第１号議案　定款改正（案）について
	第２号議案　平成30年度決算報告（案）並びに監査報告
	第３号議案　2019年度高知県看護協会名誉会員について（案）
	第４号議案　2019年度改選役員、推薦委員 2020年度代議員及び予備代議員選出について
	選挙・投票
	休　憩
11:00	報告事項
	1　日本看護協会理事会報告
	2　日本看護協会法人会員会報告
	3　2019年度日本看護協会通常総会
	4　高知県看護協会理事会報告
	5　高知県看護協会地区支部長会報告
	6　平成30年度事業報告
	7　2019年度重点事業及び事業計画
	8　2019年度収支予算
12:00	名誉会員証贈呈
12:10	改選役員・推薦委員・代議員等当選者発表
12:20	2020年度選挙管理委員任命
	退任役員への謝辞
	退任役員代表挨拶
	新役員紹介
	新役員代表挨拶
	協会歌斉唱
12:40	閉　会

《委任状の取り扱いについて》

委任状は、当日出席される方に委任をお願いします。**通常総会におけるすべての議決権を委任する**ことになりますので、委任を受ける方のお名前は、**フルネームで正確**にお書きください。

定款第19条では、「やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、他の正会員又は理事を代理人として表決を委任することができる。この場合において、表決を委任した者は出席したものとみなす」となっています。このことを遵守して、適正な総会運営に努めます。

委　任　状

2019年度公益社団法人高知県看護協会通常総会(6月15日開催)の議決権を、

氏名　　(会員又は理事)

に委任します。

(代理人名が空欄の場合は、召集権者に委任します。)

委任する方の氏名を必ず**フルネーム**で記入して下さい。

2019年　　月　　日

所属(施設名)

県協会会員No:

会員氏名　　印

《委任状の締め切りと提出方法》

提出期限：**6月7日(金)17時まで**

提出方法：高知県看護協会へ返信用封筒にて返送または直接持参でお願いします。

※なお、下記のとおり、**委任状、通常総会議案** を会員の皆様にお届けします。

- ●委任状の発送　　4月末日
- ●通常総会議案の発送　　5月31日（金）頃

審議事項等をご理解の上、期日までに委任状の提出をお願いします。

2019 こうち看護フェア ご案内

ー看護との出会い パートⅡー　進学相談会

と　き / 2019年5月11日（土）12：00～16：00（11：30開場）

ところ / 高知市文化プラザかるぽーと　小ホール　高知市九反田2－1

✧12：00～12：05　会長挨拶

✧12：05～12：20　ファッションショー

ナースウェアファッションショー

✧12：20～13：20　先輩看護職の語り

保健師、助産師、看護師、訪問看護師

✧13：30～16：00　進路相談

県内の看護系大学、看護師養成校の教員が相談対応し、カリキュラム、学校の様子、費用、進学に対し不安に思っていること等について、説明やアドバイスをします。

また、先輩看護職に相談できるコーナーもあります。

参加校

高知大学医学部看護学科
高知県立大学看護学部
高知学園短期大学看護学科
独立行政法人国立病院機構
高知病院附属看護学校
高知県立幡多看護専門学校
龍馬看護ふくし専門学校
近森病院附属看護学校
高知開成専門学校看護学科

県内で活躍している認定看護師紹介　シリーズ⑦
ーがん放射線療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師ー

日本看護協会が認定している認定看護師は、平成31年３月現在、全国で21領域19,631名が活躍しています。高知県では、20領域114名がそれぞれの場で活躍しています。

今回は、がん放射線療法看護認定看護師１名とがん性疼痛看護認定看護師２名をご紹介します。

なお、高知県・高知市病院企業団立高知医療センターでご活躍中のがん性疼痛看護認定看護師　明神友紀さんにつきましては、休暇中のため、お名前のみのご紹介とさせていただきます。

がん放射線療法看護認定看護師

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　**前川　真弥**

がん放射線療法は、がん治療の一つで、身体への負担が少なく機能が温存できるという特徴があり、患者数は増加しています。近年、高精度治療が出来るようになった半面、治療計画や照射方法が複雑化しています。放射線療法の効果を最大限に活かすには、治療の継続が重要です。

がん放射線療法看護認定看護師として、専門的な知識や技術を用いて、患者さん・ご家族の放射線療法に対する不安の軽減、意思決定支援、セルフケア支援や看護ケアを行います。放射線治療医・診療放射線技師との連携はもちろん、診療科の医師、入院フロア・外来看護師、他職種や様々なチームと共働し、放射線療法を受ける患者さん・ご家族を支えていくための連絡調整役も担っていきたいと考えています。

がん性疼痛看護認定看護師

国立病院機構高知病院　**長浦　英世**

当院は高知県がん診療連携推進病院です。様々な痛みを訴える患者さんたちの看護を経験し、11年前にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得するに至りました。昨年、無事２回目の更新を行うことができほっとしているところです。

現在は、呼吸器センター病棟勤務と、がん相談支援センター業務をしています。病棟では主に肺がん患者さんの看護実践（夜勤業務が多く、夜専門の看護師さんやねえと言われています）です。がん相談支援センター業務では、がん相談員として、サロンの運営なども行いながら日々の業務の大半をがん患者さんの看護をさせていただいています。私の看護のモットーは「この人に話したい」と思ってもらえることです。「痛い」「辛い」「困った」ことを相談できる信頼される看護師でいたいと思います。少しでも患者さんやご家族の支えになれるよう、日々自己研鑽しつつ頑張ります。

会員施設の紹介

医療法人臼井会 田野病院

◆安芸郡田野町1414－1
◆看護部長　乾　留里子

当院は、県東部の四国で一番小さい町、田野町に位置し、救急医療を中心に地域医療を担っています。近隣には田野駅屋、消防本部、銀行、コンビニ、ドラッグストア、小学校等が隣接し、生活や療養の拠点には適しているのではと思います。

平成29年度には高知県立大学の指導を受けながら、地域・多職種協働型の退院支援事業に取り組み、退院支援の仕組み作りを学びました。在宅療養生活を支援する専門職として院内外との連携を図りながら、患者さまやご家族の思いに寄り添うべく日々邁進しています。急性期一般病棟では質の高い看護を提供するためバディ制を導入して半年が経過し、定着に向かっています。また、回復期リハビリテーション病棟では 365 日体制のリハビリテーションを実施し、早期退院や平均在院日数の短縮へと繋がっています。

今後は、これまで以上に関連施設や関連部署との連携を図りながら、病院理念の基、地域医療・看護・介護に「愛＆眼」を注いでいきたいと思います。

デイサービスたの

特定医療法人防治会 いずみの病院

◆高知市薊野北町２丁目10－53
◆看護部長　大岩　好香

特定医療法人防治会いずみの病院は、高知インターを降りてすぐの、高知市北地区にあり、背には北山を、正面には薊野大橋を見下ろす位置にあり、四季を通して、窓や屋上からの景色と緑に癒される療養環境にあります。

当院は、地域密着型の、急性期病棟、療養病棟、回復期病棟、緩和病棟を持つケアミックスの病院です。同法人内には、きんろう病院、あったかケアみずき、梅ヶ辻クリニックがあり、医療と介護の連携を図りながら、治療・療養・生活に寄りそい、その人らしさを尊重したケアの提供に努めています。

看護部では、多様な働き方や有給休暇取得率向上に取り組んでいます。教育体制としては、新人研修及び２年目・３年目の研修は、先輩と一緒に取り組み、連帯感が持てるようなしくみとなっています。また、看護協会クリニカルラダーの４つの力と当院ラダーを連動させ、継続教育プログラムに反映させています。キャリア支援制度とともに、仕事と生活を両立しながら成長できるよう支援しています。

医療法人慈恵会 中村病院

◆四万十市中村小姓町75番地
◆総看護部長　柿本　佳代子

当院は昭和32年地域住民のニーズの要求を満たし安心した医療提供を目的として開設しました。働きやすい職場作りを目指す為、「WLB推進事業」に取組み、業務改善課題を継続的に推進するため、多職種協働業務を横断的に実践し成果を維持出来ています。超後期高齢・多死社会を背景に、平成30年度診療報酬改定で新たに設定された、「介護医療院制度」を平成30年12月から導入し、医療介護難民救済への手助け、及び施設運営の安定化を維持する施策として介護療養型老人保険施設60床を「介護医療院」に移行しました。

介護医療院は医療的処置を実践する傍ら、保険制度の「在宅」に位置する特別枠として設けられ、看取りを含め、最期まで安心して療養できる環境提供が可能な施設であり、残存機能維持亢進リハビリを含め、患者様及びご家族にとって安心した療養環境の提供が最後まで実践される特徴があります。また、医療院制度の基準に「地域住民との支援活動」が定められており、地域交流を積極的に職員が参加し交流、生活指導に携わっています。現在当院では、「美味しく食べられる食支援」に力を入れ、合同委員会が、「美味しくて食べられる為のバランスチャート評価」を導入し、患者様個々の食生活改善向上に多職種で介入し大きな成果が見えて来ました。今後も患者様の笑顔を勲章に、職員一同全力で取り組んで行きたいと思います。

再就職相談会

高知県ナースセンター

高知県ナースセンターでは、再就職を考えている看護職と看護職員を雇用したい施設の方々を対象に、相談、面接の機会を年２回設け、再就職、採用へつながるよう支援しています。

今年度第２回目となる再就職相談会は、平成31年１月19日（土曜日）13：00～16：00、高知県看護協会会館で開催しました。参加求人施設は20施設、求職者は20名でした。複数の施設で面接をする求職者も多く、のべ相談者は44名でした。

個人で施設見学や面接に出向くことは容易ではありませんが、当企画は複数施設に面談し情報を得る良い機会となっています。求職者では「気軽にいろいろ聞くことができて良かった」、求人施設では「他施設と情報交換ができた」などの感想がきかれました。今回は予定を含め３名が採用見込みとなっています。

平成30年度 看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォローアップ・ワークショップ開催報告

開催日：平成31年２月１日（金）9：30～15：20

○講　演「男女共同参画の視点からみたワーク・ライフ・バランス」
講師：高知大学教育学部　准教授　森田　美佐　氏

○インデックス調査実施施設の取り組み発表（８施設）
平成28年度取り組み：あき総合病院　近森病院　近森リハビリテーション病院
近森オルソリハビリテーション病院　潮江高橋病院
平成29年度取り組み：幡多けんみん病院
平成28年度・29年度・30年度取り組み：清和病院
平成30年度取り組み：高知医療センター

○意見交換

フォローアップ・ワークショップには、看護職のWLBインデックス調査参加施設と一般参加者、当協会のWLB推進委員など33名の参加があった。

平成28年度から30年度に看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業に取り組んでいる８施設から報告があった。それぞれの施設がインデックス調査結果をもとにした自施設の課題に対して、計画的に取り組み、着実に成果を挙げているという報告がされ、活発な意見交換が行われた。参加者からは、病院の課題は同じようなものがあり各施設が丁寧に取り組んでいることが分かった、今後の参考にさせていただくなどの感想が寄せられた。

平成30年度高知県看護協会看護研究学会

開催日：平成31年３月２日（土）

平成30年度のテーマは「想いをつなぐ看護」で、126名の参加がありました。シンポジウム「在宅移行を推進するための施設と地域との相互連携」では、退院をめぐる現状、在宅医療へ移行するための院内外の体制・ルール作り、情報活用等について講演の後、病院医療連携室と訪問看護ステーションから、看護・ケアマネージャーの立場で相互連携を行った事例の発表がありました。病院・地域の課題を踏まえ活発な意見交換、情報提供ができたのではないかと思います。研究発表･実践報告は18演題(口演13題、示説５題）で人材育成・災害看護、在宅支援、看護の質向上への取り組みなど様々な分野から発表があり、アンケートでは実践に役立つ内容だったと意見・感想がありました。発表者の皆様、参加者の皆様に研究学会委員一同心から感謝申し上げます。

在宅緩和ケア従事者研修報告

開 催 日：平成31年１月12日（土）・13日（日）9：30～16：30
参 加 者：24名
場　　所：高知県立大学看護学部 実践開発実習室
テ ー マ：がん患者の最期まで生きる力を支える食支援
講　　師：NPO法人 口から食べる幸せを守る会
　　理事長　小山　珠美　氏
研修内容：座学と演習で組み立てられ、知識・技術の習得に効果的な構成となっていた。参加者からは、支援方法は、KTバランスチャートを用いて導き出せる、患者体験で姿勢の整え方やすきまを作らない等の実技と患者体験から具体的な方法を学んだ、誤嚥性肺炎の危険性がある方でも「口から食べる可能性」を考え忘れてはいけないことを学んだ、「食べさせて欲しい」と言えない方の意志を尊重しないといけないと感じた等の感想が寄せられた。

認定食事サポーターについて

小山氏は、「人生の最期まで食べて幸せに暮らしたいという誰もが思う願いを支えたい」を推進できる人材の育成をめざしておられます。当協会でも「食」はいのちの根幹であり、人生を全うするための要であり、本人・家族の幸せにつながると支援として、看護職が中心となり、‘口から食べるための援助’を広げていく必要があると考えております。

このたびの研修を修了された皆様が、研修で得た学びを自施設や在宅で実践して広げていって下さることで多職種にも広がり、最終的には、住民の方々にまで広がっていくことをめざして、他県に先駆け「認定食事サポーター」の認定制度を始め、当研修修了生25名（うち１名は研修担当者）に認定証を送付しました。県民の皆様の「人生の最期まで食べて幸せに暮らす」を支援できる看護師が増えることを期待しております。

こうち看護協会訪問看護ステーションからのお知らせ

３月18日（月）、訪問看護ステーションの車が２台更新されました。

認定食事サポーター

高知　はなこ

認定日：平成31年1月31日

公益社団法人　高知県看護協会

目的：口から食べることは、人が幸せに生きるための基本的な権利です。『食』を支援することで、『人生の最期まで食べて幸せに暮らしたい』をサポートします。

発行元：公益社団法人　高知県看護協会
高知市朝倉己825-5
TEL844-0678　Fax844-0053
NPO法人 口から食べる幸せを守る会

会員のひろば

趣味の紹介

高知県看護協会　常任理事　秦　菅

私の趣味は社交ダンスです、出会いは30数年前になります。始めた動機はオシャレして音楽に合わせ楽しくステップを踏む雰囲気の魅力でした。ところが、すぐに見た目とは裏腹にスポーツであることを実感し、アスリートを自負しながら日々練習に励み現在に至っております。リーダーである最愛の夫と競技ダンスを楽しみ、体脂肪率21%、足腰の痛みとは無縁の生活を送っております。

私が最も注目する社交ダンスの良さは、ステップの動きがとてもナチュラル（自然）で、一つひとつ全く無駄がない所です。特に女性は「後ろに進む動作」が多いので、姿勢がよくなる・身体のバランス感覚が養われる等、メリットが多くあります。ダンスをしている方は実年齢より10歳程、若く見えます。高齢者を中心として静かなブームになっており、高知市内にも多くのダンスサークルがあります。少し、嫌がられますがお会いする皆様にお勧めしております。

楽しく体を動かすことで脳を活性化し、健康維持、認知症予防につなげる事が出来ればと思いサークル活動も行っております。

理事会報告　事務局だより

≪第７回理事会≫　平成31年１月12日（土）

Ⅰ　審議事項

1．就業規則嘱託職員及び給与規程の改正（案）について
2．2019年度重点事業（案）について
3．県委託事業に係る会館使用料について
4．2019年度高知県看護協会会長表彰の推薦について
5．2019年度日本看護協会役員の推薦（案）について
6．第３回地区支部長会議題（案）について

Ⅱ　報告事項

1．会計実地検査について
2．都道府県看護協会事務担当者会議について
3．2019年度日本看護協会通常総会参加者について
4．「第47回医療功労賞」都道府県医療功労賞受賞者決定について
5．業務執行理事職務報告
6．後援依頼について
7．委嘱を受けている諸会議

Ⅲ　その他

≪第４回常任理事会≫　平成31年２月９日（土）

Ⅰ　協議事項

1．2019年度事業計画（案）について
2．2019年度通常総会プログラム（案）について

Ⅱ　報告事項

1．三職能次年度の事業計画について
2．その他

≪第８回理事会≫　平成31年３月９日（土）

Ⅰ　審議事項

1．2019年度重点事業及び事業計画（案）について
2．2019年度収支予算書（案）について
3．2019年度資金調達及び設備投資の見込み（案）について
4．2019年度高知県看護協会名誉会員候補者（案）について
5．2019年度高知県看護協会長表彰候補者（案）について
6．2019年度高知県看護協会通常総会について
7．2019年度専務理事補欠選任について

Ⅱ　報告事項

1．2019年度日本看護協会会議等日程表及び高知県看護協会行事日程について
2．2019年度日本看護協会名誉会員候補者及び協会長表彰受賞者について
3．2019年度都道府県看護協会訪問看護担当者会議報告について
4．2019年度日本看護協会通常総会参加者及び代議員・予備代議員研修について
5．業務執行理事の職務報告
6．後援依頼について
7．委嘱を受けている諸会議

Ⅲ　その他

編集後記

「平成」の元号も平成31年４月30日をもって新元号である「令和」に代わります。日本人として改めて歴史の重みや伝統を再認識すると同時に、日本にとって新たな変革の時代の始まりを感じます。

日本看護協会では2025年に向けた看護の挑戦として、看護の将来ビジョン「～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を掲げています。変わり行く社会・医療情勢の中で、私たちは看護職としての専門性を発揮し、人々の尊厳が最期まで保持され、誇りある人生を送ることができるよう、そして何より、新しい時代も平和であることを願います。（広報出版委員　齊藤　尚子）

●印刷：西富謄写堂